

# 令和7年度熊本県公立学校教員採用選考考査第二次考査における 模擬授業題について

学校人事課

## 1 模擬授業について

- (1) 出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その授業を模擬授業として実施する。
- (2) 模擬授業の時間は面接員の指示から授業終了まで10分以内とする。
- (3) 模擬授業の会場には、ホワイトボード・ペン（黒・赤・青）が準備してある。
- (4) 模擬授業は、受考者が本時の学習の中心と考える部分について行うこと。導入やまとめ等は不要。
- (5) 図や表、グラフ、長文等、板書に時間を要するものは、書いてあるものと想定して授業を行ってよい。
- (6) 面接員とのやり取りはできない。
- (7) 模擬授業に持ち込み可能なものは、模擬授業メモ（A4用紙1枚）のみとし、メモを見ながら授業を行ってもよいこととする。  
※メモの提出は不要  
※その他の掲示物等の持ち込みは一切不可
- (8) 小学校については、国語か算数のいずれか一つを選択する。

## 2 模擬授業出題一覧

校種・教科 (科目)等		模擬授業の内容
小学校	(国語)	小学校学習指導要領 国語 〔第1学年及び第2学年〕 2 内容 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
	(算数)	小学校学習指導要領 算数 〔第5学年〕 2 内容 B 図形 (1) 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。

校種・教科 (科目)等	模擬授業の内容
中学校・国語	<p>中学校学習指導要領 国語 [第3学年] 2 内容 〔思考力, 判断力, 表現力等〕</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 文章の種類を選択し, 多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて, 文章の構成を工夫すること。</p>
中学校・社会	<p>中学校学習指導要領 社会 [歴史的分野] 2 内容</p> <p>B 近世までの日本とアジア</p> <p>(3) 近世の日本</p> <p>課題を追究したり解決したりする活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(イ) 江戸幕府の成立と対外関係</p> <p>江戸幕府の成立と大名統制, 身分制と農村の様子, 鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に, 幕府と藩による支配が確立したことを理解すること。</p>
中学校・数学	<p>中学校学習指導要領 数学 [第1学年] 2 内容</p> <p>B 図形</p> <p>(2) 空間図形について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 扇形の弧の長さ<sup>すい</sup>と面積, 基本的な柱体や錐体, 球の表面積と体積を求めること。</p>
中学校・理科	<p>中学校学習指導要領 理科 [第1分野] 2 内容</p> <p>(2) 身の回りの物質</p> <p>(ア) 物質のすがた</p> <p>① 気体の発生と性質</p> <p>気体を発生させてその性質を調べる実験を行い, 気体の種類による特性を理解するとともに, 気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付けること。</p>
中学校・音楽	<p>中学校学習指導要領 音楽 [第2学年及び第3学年] 2 内容</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次の(ア)から(イ)までについて理解すること。</p> <p>(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と, その特徴から生まれる音楽の多様性</p>
中学校・美術	<p>中学校学習指導要領 美術 [第2学年及び第3学年] 2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(2) 表現の活動を通して, 次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 発想や構想をしたことなどを基に, 表現する活動を通して, 技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 材料や用具の特性を生かし, 意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。</p>

校種・教科 (科目)等	模擬授業の内容
中学校・保体	<p>中学校学習指導要領 保健体育 [体育分野 第3学年] 2 内容 H 体育理論</p> <p>(1) 文化としてのスポーツの意義について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文化としてのスポーツの意義について理解すること。</p> <p>(4) オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。</p>
中学校・技術	<p>中学校学習指導要領 技術・家庭 [技術分野] 2 内容 C エネルギー変換の技術</p> <p>(3) これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。</p>
中学校・家庭	<p>中学校学習指導要領 技術・家庭 [家庭分野] 2 内容 C 消費生活・環境</p> <p>(2) 消費者の権利と責任</p> <p>イ 身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。</p>
中学校・英語	<p>中学校学習指導要領 外国語 英語 2 内容 [知識及び技能]</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>カ 書くこと</p> <p>(4) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。</p>

※中学校・保体については、他の教科等と同様に教室での模擬授業とする。

なお、運動のできる服装、運動靴の準備は不要。